

## 再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課  
担当課長名：深澤 淳志

事業名	旭川・紋別自動車道 一般国道450号 白滝丸瀬布道路	事業区分	一般国道	事業	国土交通省 北海道開発局	
起終点	自：北海道紋別郡遠軽町白滝 至：北海道紋別郡遠軽町丸瀬布字南丸	延長	16.0km			
事業概要						
旭川・紋別自動車道は、北海道縦貫自動車道比布ジャンクションから分岐し、紋別市に至る延長約130kmの一般国道の自動車専用道路である。このうち白滝丸瀬布道路は、白滝インターチェンジから丸瀬布インターチェンジに至る延長約16.0kmの事業で、国土・地域ネットワークの構築により、物流効率化の支援や個性ある地域の形成、円滑なモビリティの確保に寄与する道路である。						
H6年度事業化		H一年度都市計画決定		H10年度用地着手		
H11年度工事着手		H一年度都市計画決定		H10年度用地着手		
全体事業費 (暫定2車線)	616億円 (509億円)	事業進捗率	80% (97%)	供用済延長	10.4km	
計画交通量	12,400台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.9 (残事業) 4.2	総費用 (残事業)/(事業全体) 151/681億円 (事業費: 106/636億円 維持管理費: 45/45億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 627/1,312億円 (走行時間短縮便益: 589/1156億円 走行経費減少便益: 21/99億円 交通事故減少便益: 18/58億円)	基準年 平成20年		
感度分析の結果						
残事業について感度分析を実施						
交通量変動：B/C=4.6(交通量+10%) B/C=3.7(交通量-10%)						
事業費変動：B/C=3.9(事業費+10%) B/C=4.5(事業費-10%)						
事業期間変動：B/C=4.1(事業期間+1年) B/C=4.2(事業期間-1年)						
事業の効果等						
・国土・地域ネットワークの構築（拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構築する）						
・物流の効率化の支援（農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる）						
・個性ある地域の形成（IC等からのアクセスが向上する主要な観光地が存在する） 他6項目に該当						
関係する地方公共団体等の意見						
物流の効率化、空港・港湾等物流拠点へのアクセス性の向上、観光産業の振興や地域間交流の活性化、救急医療への貢献を進めるものとして、網走市をはじめとする3市15町1村の首長等で構成される網走支庁管内総合開発期成会等より早期整備の要望を受けている。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等						
・旭川・紋別自動車道のうち、平成19年度末供用済み延長は、約65kmとなっている。						
・旭川市の旭山動物園の平成18年以降の入場者数は300万人を超え、全国第2位となっている。						
・平成17年7月に知床が世界自然遺産に登録された。						
・平成17年10月に遠軽町、白滝村、丸瀬布町、生田原町が遠軽町として合併した。						
事業の進捗状況、残事業の内容等						
平成11年度に工事着手して、用地進捗率100%、事業進捗率80%となっている。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等						
引き続き事業が順調に進んだ場合、平成20年代前半の暫定2車線供用を予定している。						
施設の構造や工法の変更等						
橋梁形式の見直しなど、コスト縮減対策に取り組んでいる。						
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。